

テーマ 「季節」を感じよう 雨を描こう

対象 4歳児

日時 2025年3月5日

### 子どもの活動

昨日は雪が舞い、東京でも少し積雪したところもありました。今朝は雨です。この冬の冷たい雨を描画で表現してみようと、はじき絵をしました。

### 子どもの様子

昨日から今日にかけて、雪と雨が降っていること、子ども達が寒い、温かい、気温や雨をどのように感じているのかを尋ねました。保育士が、今朝どうやって保育園へ登園したのかを尋ね、「傘をさしてきた」「レインコートを着た」「長靴を履いてきた」などの子ども達の声が聞かれました。外を見て、雨が降り続けていることをみんなで見ました。

画用紙とクレパスで、自分が雨降りの時、外を歩いている絵をクレヨンで描きました。保育士が「外に出る時には何を着る？」という声をかけると、服を描いて、塗る姿がありました。まだ描ける空白がある子どもには、保育士の「おうちには、だれがいる？お兄ちゃんいる？お母さんは？」などの声掛けで、さらに人物を書き足す姿がありました。

その後、準備しておいた薄く溶いた青と水色の絵の具を出し、保育士が、「雨をふらそうね。」と言いました。

子ども達は、筆で、絵具を絵の周りや空に雨を降らせました。絵具の感触が楽しくて、中には、全面塗ってしまう子どももいました。絵具を塗ると、クレヨンで描いた線が浮き出てくるのを楽しみました。

### 振り返り

顔も、体もある人物をかけるようになった姿がありました。

先月から天気についてクラスで、興味を持てるように、話をしたり、図鑑をみたりしてきました。先月から子ども達は、毎日、その日の天気を確認しています。その中で、昨日の雪や、本日の雨を体験して、描画をしました。

絵具の使い方は、筆洗のふちで、絵具を切り、垂れないように扱える子どもが多数いました。おもいおもいに自分の思っていることを描画で表現できる子どもが増えてきました。

